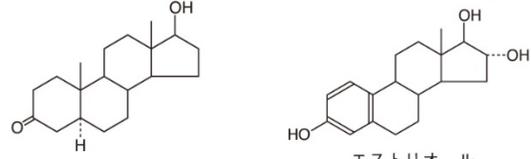
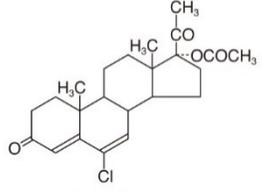


## 正 誤 表

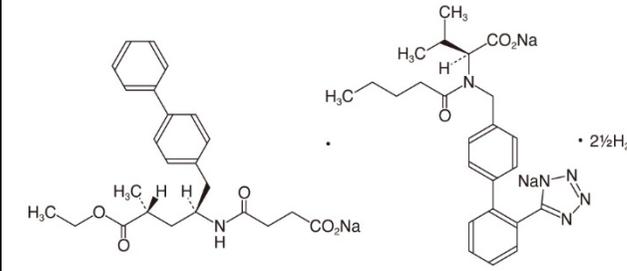
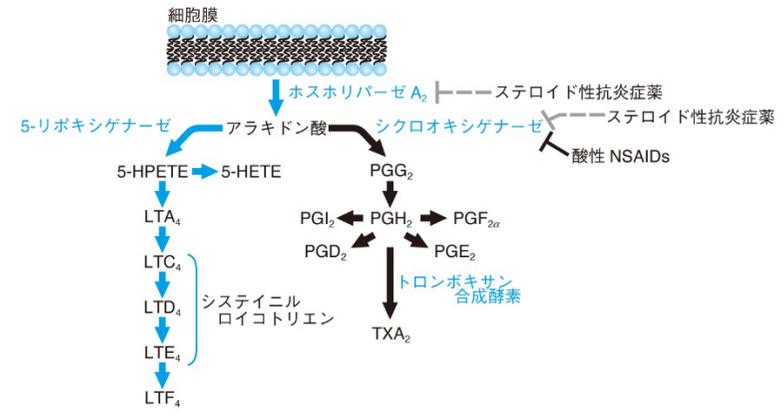
「パートナー薬理学（改訂第4版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

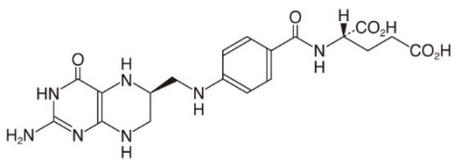
頁	該当箇所	誤	正
vii	第7章の練習 問題の頁	281	283
32	上から6行目	逆作動薬の例として～（中略）～あげられる。	逆作動薬の例として、アドレナリン $\beta_1$ 受容体に対するメトプロロール、アンジオテンシンII AT <sub>1</sub> 受容体に対するカンデサルタン、ヒスタミンH <sub>1</sub> 受容体に対するエピナスチン、ヒスタミンH <sub>2</sub> 受容体に対するファモチジンなどがあげられる。
32	図1-22	（凡例の追加）	R：不活性化状態の受容体 R*：活性化状態の受容体
33	図1-23	薬物濃度[D]（nM） $\frac{E}{E_{\max}} = \frac{[D]}{K_A + [D]}$	薬物濃度[A]（nM） $\frac{E}{E_{\max}} = \frac{[A]}{K_A + [A]}$
37	上から2行目	$\left(\frac{[AR]_i}{R_0}\right)$	$\left(\frac{[AR]_i}{R_t}\right)$
37	下から2行目	pD' <sub>2</sub> は、競合的拮抗薬の解離定数の負の常用対数値に等しい	pD' <sub>2</sub> は、非競合的拮抗薬の解離定数の負の常用対数値に等しい
44	図1-31	G <sub>sα</sub>	G <sub>iα</sub>
52	図1-39 下から2行目 下から5行目	K <sub>ir</sub> 6.0	K <sub>ir</sub> 6.1/6.2
101	表2-6 ナドロールの 不整脈	—	○

141	下から 6 行目	末尾に右の文章を追加	テトラカインを単一成分とする医薬品の販売は中止となっているが、アミノ安息香酸エチル・テトラカイン・ジブカインの3薬を含有する医薬品が歯科用表面麻酔剤として利用されている。
154	上から 1 行目	末尾に右の文章を追加	現在、製造販売は中止されている。
184	下から 2 行目	ドラベツト	ドラベ
185	表 6-5		
189	下から 8 行目	ドバミン、セロトニン、アセチルコリン M	ドバミンD <sub>2</sub> 、セロトニン5-HT <sub>2</sub> 、ムスカリン
197	図 6-12	細胞対	細胞体
243	上から 8 行目	高グリセリド血症	高トリグリセリド血症
246	下から 1 行目	LPL	HSL
252	下から 9 行目	tublin	tubulin
258	図 7-5 5 $\alpha$ -ジヒドロテストステロンの構造式 エストリオールの構造式	略 それぞれ右図に差し替え	 <p>5<math>\alpha</math>-ジヒドロテストステロン</p> <p>エストリオール</p>
276	クロルマジノン酢酸エステル の構造式	略 右図に差し替え	 <p>クロルマジノン酢酸エステル chlormadinone acetate</p>

317	図 9-9	略 右図に差し替え	<p><b>図 9-9 心不全治療薬の作用点</b>  SGLT2：ナトリウム-グルコース共輸送体 2 sodium-glucose co-transporter 2  ARNI：アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 angiotensin receptor neprilysin inhibitor</p>
325	上から 2 行目	交換輸送	交換輸送体
327	図 9-13	略 右図に差し替え	<p><b>図 9-13 サクビトリルバルサルタンの作用</b></p>

327	下から 9 行目	複合体	共結晶
328	下から 13 行目	アンジオテンシン II AT <sub>1</sub> 受容体遮断薬, アドレナリン β 受容体遮断薬	アンジオテンシン II AT <sub>1</sub> 受容体遮断薬, <b>ARNI</b> , アドレナリン β 受容体遮断薬
357	下から 4 行目	p231 を参照	p313, 314 を参照
365	サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物の構造式	略 右図に差し替え	 <p>サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物 sacubitril valsartan sodium hydrate</p>
377	下から 11 行目 *3	劣性 優性	潜性 (劣性) 顕性 (優性)
389	抗血小板薬の化合物名	リマプロスト アルファデックス	リマプロスト アルファデクス
403	化学構造式の分類名	血小板減少症治療薬	白血球減少症治療薬
433	図 11-12	略 右図に差し替え	 <p>図 11-12 アラキドン酸カスケードと抗炎症薬の作用点</p>

445	図 11-14	Fc $\gamma$ 受容体	Fc $\gamma$ 受容体
451	図 11-16	略 右図に差し替え	<p>① B細胞からIgEが産生 T細胞 → B細胞 抗体産生抑制薬</p> <p>② 産生されたIgEが肥満細胞表面の高親和性IgE受容体(Fc<math>\epsilon</math>受容体)に結合</p> <p>③ IgEに抗原が結合 抗原がIgE(2分子)に結合し架橋</p> <p>④ 肥満細胞が新たにロイコトリエンを産生 ④ 肥満細胞が新たにトロンボキサンA<sub>2</sub>を産生</p> <p>⑤ 産生されたロイコトリエンを放出 ⑤ 産生されたトロンボキサンA<sub>2</sub>を放出</p> <p>⑥ ロイコトリエンが受容体に結合、以下が引き起こされる ・血管拡張 ・血管透過性亢進 ・鼻閉 ・鼻汁分泌 ・気管支収縮</p> <p>⑥ ヒスタミンが受容体に結合、以下が引き起こされる ・血管透過性亢進 ・鼻閉 ・鼻汁分泌 ・発赤</p> <p>⑥ トロンボキサンA<sub>2</sub>が受容体に結合、以下が引き起こされる ・血管収縮 ・気管支収縮 ・血小板凝集</p> <p>薬物作用点:      トロンボキサン合成酵素阻害薬      ケミカルメディエーター遊離抑制薬      CysLT<sub>1</sub>受容体遮断薬      H<sub>1</sub>受容体遮断薬      TXA<sub>2</sub>受容体遮断薬</p>
図 11-16 アレルギー疾患治療薬の作用点			
457	上から 18 行目	鼻腔抵抗の上昇を抑える鼻閉に有効である。	鼻腔抵抗の上昇を抑えるため、鼻閉に有効である。ラマトロバンは、PGD <sub>2</sub> の受容体であるプロスタノイドDP <sub>2</sub> 受容体(CRTH <sub>2</sub> 受容体)も遮断する。
460	下から 3 行目	標準化スギ花粉エキス原液	スギ花粉エキス原末
461	練習問題 11	JAK 阻害することにより	JAKを阻害することにより
472	下から 1 行目	カルニチン	カルニチン (販売中止)
478	上から 9 行目	合成ケイ酸アルミニウム synthetic aluminum silicate, Al <sub>2</sub> O <sub>5</sub> Si	合成ケイ酸アルミニウム synthetic aluminum silicate, Al <sub>2</sub> O <sub>5</sub> Si (販売中止)

494	コラム 上から 3行目	劣性	潜性 (劣性)
496	図 12-13	TGRS	TGR5
604	下から 11行目 下から 15行目	ビグアナイド系消毒薬	ビグアナイド系消毒薬
605	練習問題 18	真菌の $\beta$ -(1,3)-D-グルカン	真菌の 1,3- $\beta$ -D-グルカン
619	テトラヒドロ 葉酸 (FH <sub>4</sub> ) の 構造式	略 右図に差し替え	 <p>テトラヒドロ葉酸(FH<sub>4</sub>)</p>
666	* 1	劣性	潜性 (劣性)

2025年4月7日  
株式会社南江堂